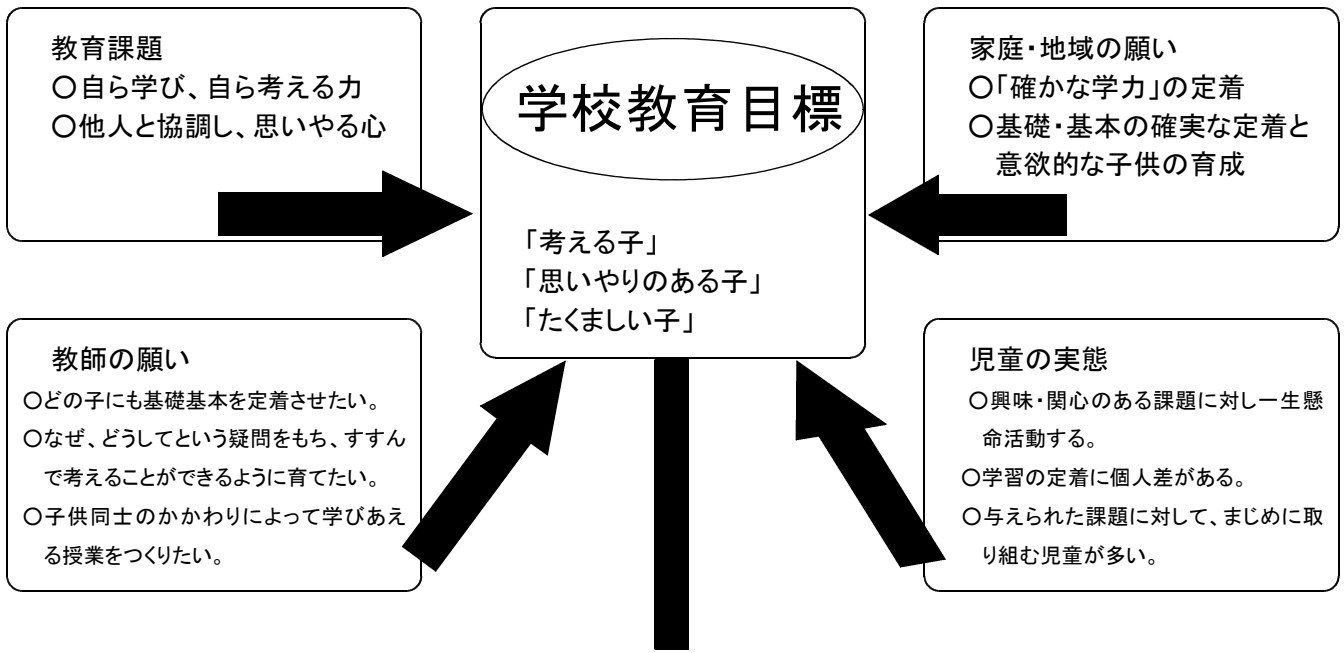


# 研究構想図



## 研究主題

一人一人の考えや意欲をはぐくむ授業を目指して  
～小中連携を踏まえた「授業改善」を通して～

## 小中連携の目的

子供たちが落ち着いた、充実した学校生活を送るためには、小中学校の教師が互いに学習指導や生活指導に関する情報を共有し合い、共に子供たちを育てていこうとする意識をもつことが大切である。その際、学区域の小中学校で子供たちが共通する学習形態や活動を意図的、計画的につくり、推進することによって、子供たちが安心して9年間の学校での学習を進めることができる。小中学校の教師が連携し、一人一人を大切にしながら落ち着いた、充実した学校生活から、「確かな学力」「豊かな心」を育成していく。

## 研究の仮説

各学級での学習規律が確立されると同時に、児童が意欲的に学習を進められる授業改善が進み、授業実践が落ち着いた状態で行われれば、小中学校で共通に取り組む実践内容も成果を上げ、学力や体力の向上に結びつくであろう。

学力向上	健全育成	体力向上	特別支援教育	キャリア教育
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習する指導</li> <li>・児童が互いに教え合う授業</li> <li>・問題解決型の授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力の向上</li> <li>・チャイム着席、「はい、立つ、です」等の規律の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の習慣化</li> <li>・楽しく運動できる指導</li> <li>・持久力、敏しょう性等を楽しく育成する指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもたせたり、スモールステップで進めたりする分かりやすい指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割を果たし、充実感等を体得する指導</li> <li>・児童が協力して活動し、関係を深める指導</li> </ul>